

はじめに

この度は Clover Chord Systems-Ver2 を購入して頂き、ご覧頂き、誠に有難うございます。

漸く Ver2 が完成致しました。これもひとえに、支えてくださった皆様のお陰です。

皆様にとって使いやすいツールとして邁進して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

共通解説書 (Macintosh 版 Windows 版)

OS によるメニューの並び等の違いがある他、どちらも操作、機能に違いはございません。

この解説書は Macintosh 版にて作成しております。

(1) インストール

※ Clover Jpaon HP よりダウンロード

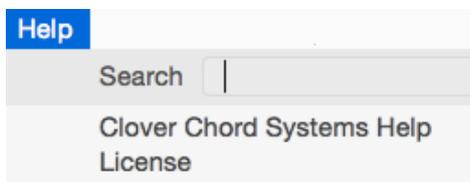
購入後のメールにある URL、或いは体験版より、ダウンロードしてインストールしてください。

アプリケーションを開くと以下の画面が出ます。



ライセンスキーをお持ちの方は、入力して[Register]を押してください。まだライセンスキーのご連絡がない方、お試しでご使用になれる方は、{Start free trial}を押してください。5日間、使用出来ます。但し印刷は出来ません。ご了承下さいませ。

また体験期間中でもライセンスキーを、メニューバーの Help、License で入力して頂ければ、通常版となります。



※ App store よりダウンロード

ダウンロードした Clover Chord Systems2 をご使用の Mac のアプリケーションへ移動して下さい。

また、アンインストールする場合は、アプリケーションフォルダーから Clover Chord Systems2 を削除してください。

(2) 新規ファイル作成

アプリケーションを開きますと以下の画面が表示されます。



図 1

Create New File を選択すると、以下の画面(図2)が現れ、ファイル名、保存場所、各パートの記入したい部分を記入し、Create で図3が新規作成されます。

Clover Chord Systems のファイルをお持ちの方は、図1のRecent used files 欄にファイルが現れますので、選択して、Open でファ

イルが立ち上がります

Create new song.

Save As:

Where:

Song Properties

Song Title:

Produced by:

Arranged by:

Composed by:

Words by:

Row

Row:

図2

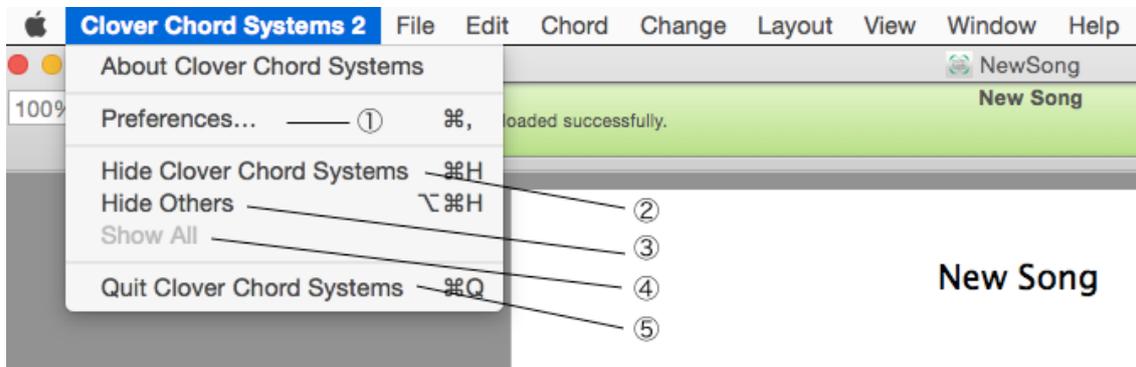
100% Auto

A New song created and saved successfully.

New Song

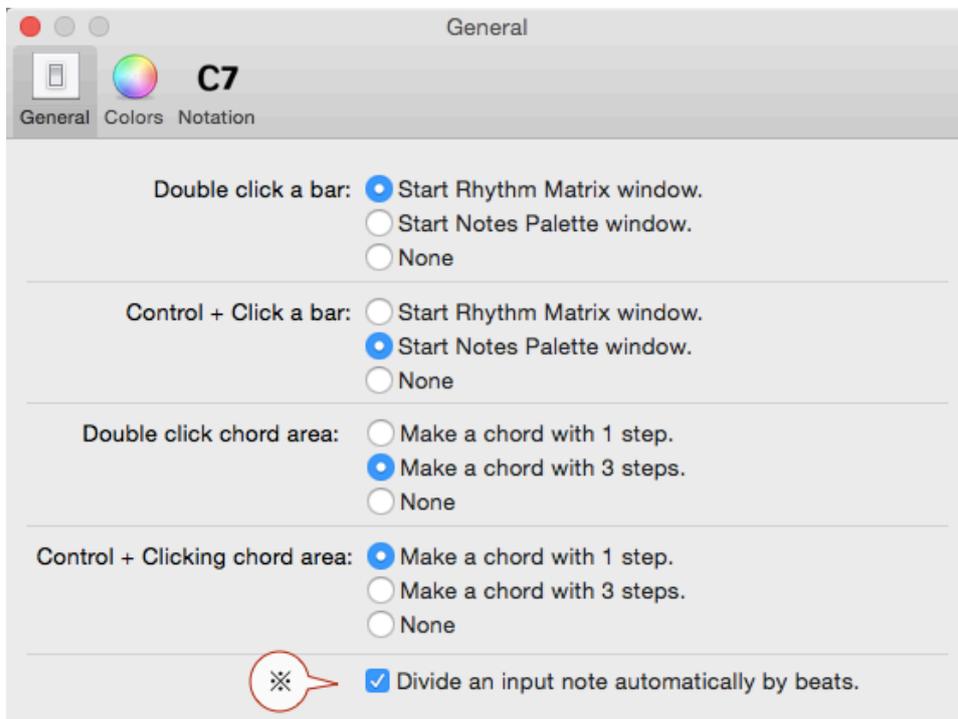
図3

(3) 各部の説明 メニューバー



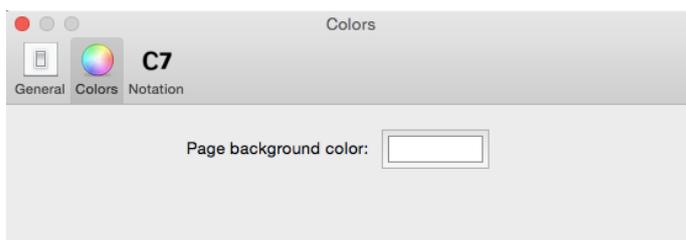
① 初期設定/各クリックの選択と背面色/表記 (Macintosh 版)

※Windows 版はTools→Option になります。

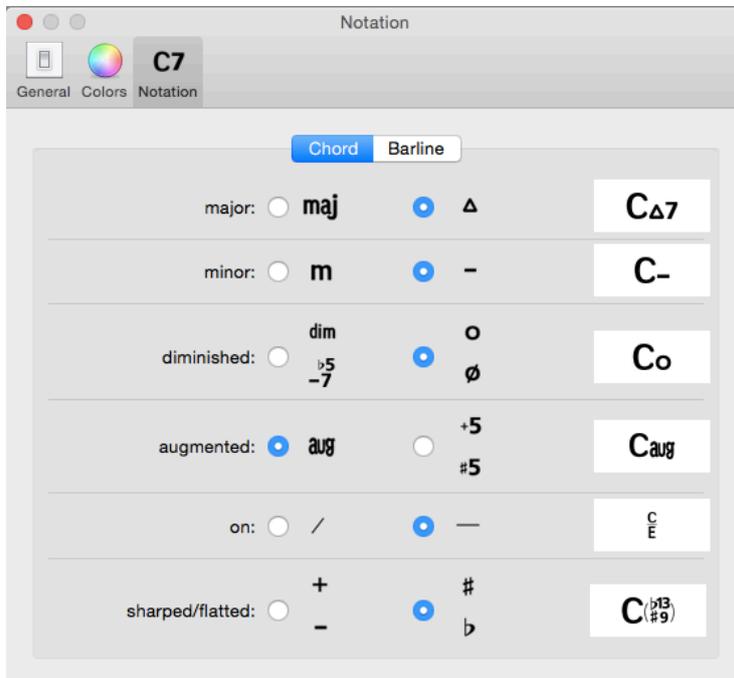


※音符入力時に4分音符で自動変換するのを、入力のままか、自動変換

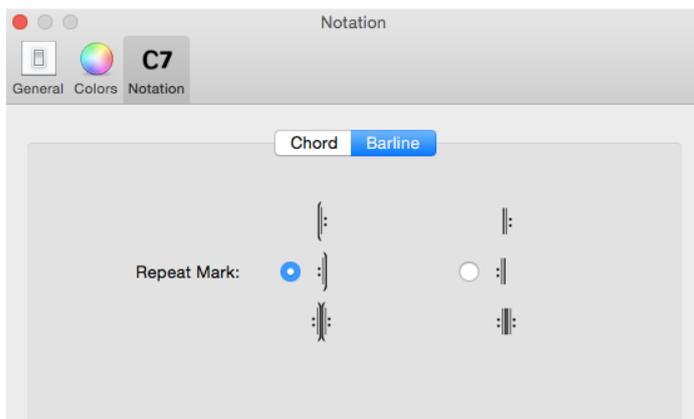
楽譜の背面色



コード表記

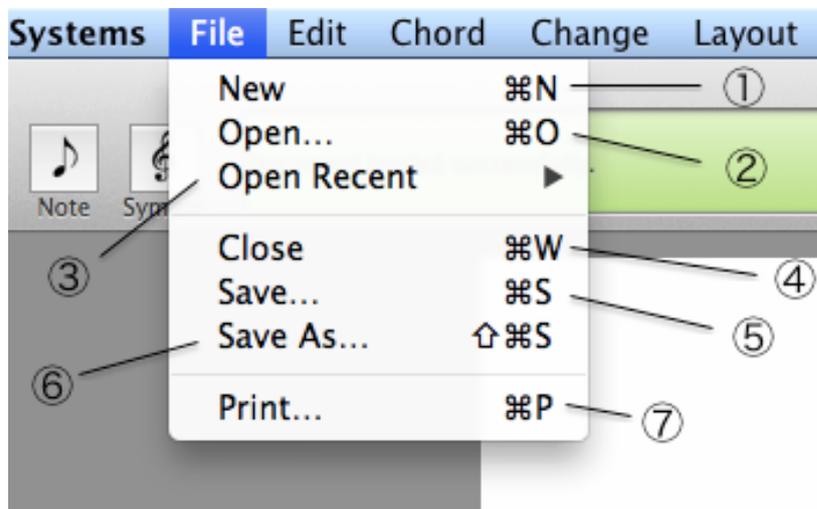


小節線

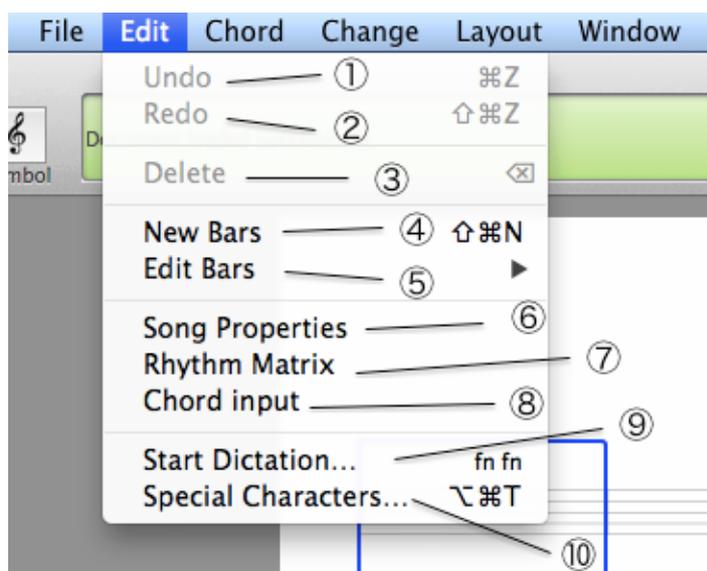


- ② アプリケーションで開いているウィンドウを隠す
- ③ Clover アプリケーション以外で開いているウィンドウを隠す
- ④ 隠していた全てのウィンドウを元の表示に戻す
- ⑤ Clover アプリケーションを終了して全てのウィンドウを閉じる

File

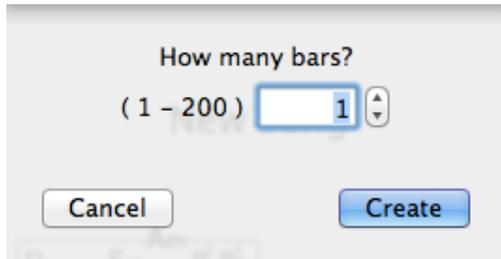


- ① 新規ファイルを作成する
- ② 既存のファイルを開く
- ③ 最近開いたファイルを一覧表示する
- ④ ファイルを閉じる
- ⑤ ファイルを上書き保存する
- ⑥ ファイルを別名で保存する
- ⑦ ファイルの内容を印刷する



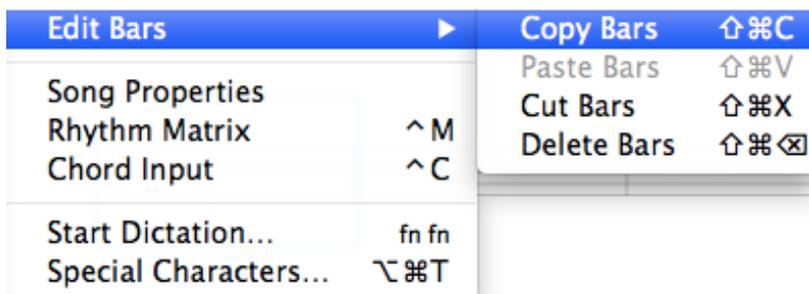
- ① 編集操作を1つ元に戻す。
- ② Undoで戻した操作を1つやり直す
- ③ 削除。対象はコード、音符/休符、記号類。小節自体は別途Edit Barsから操作する

- ④ 新規小節作成。曲の末尾に新規小節を加える

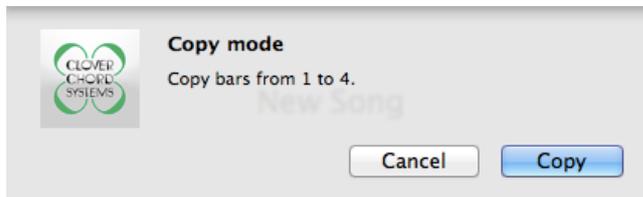


- ⑤ 小節の編集操作を開始

-Copy Bars-

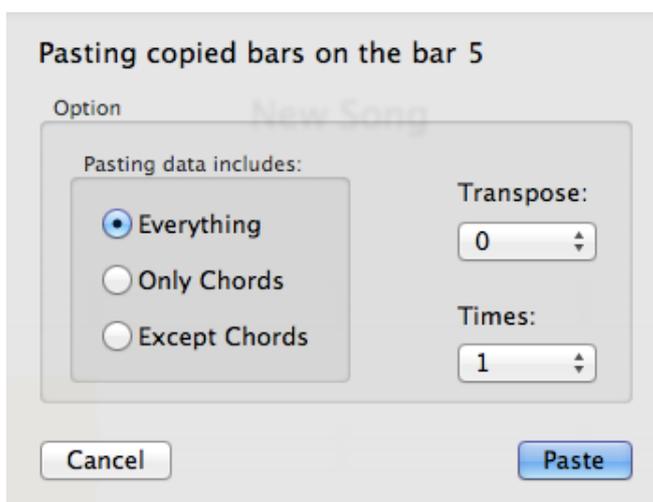


コピーしたい最初の小節と終わりの小節を指定すると、下図が表示され、Copy



-Paste Bars-

ペーストしたい小節を指定すると



すべて、コードのみ、コード以外、と転調と回数を選択して Paste

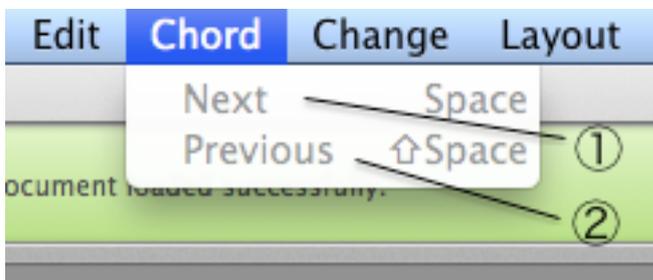
-Cut Bars-

カットしたい最初の小節と終わりの小節を指定すると、ペースト画面に入り、小節を指定する。

-Delete Bars-

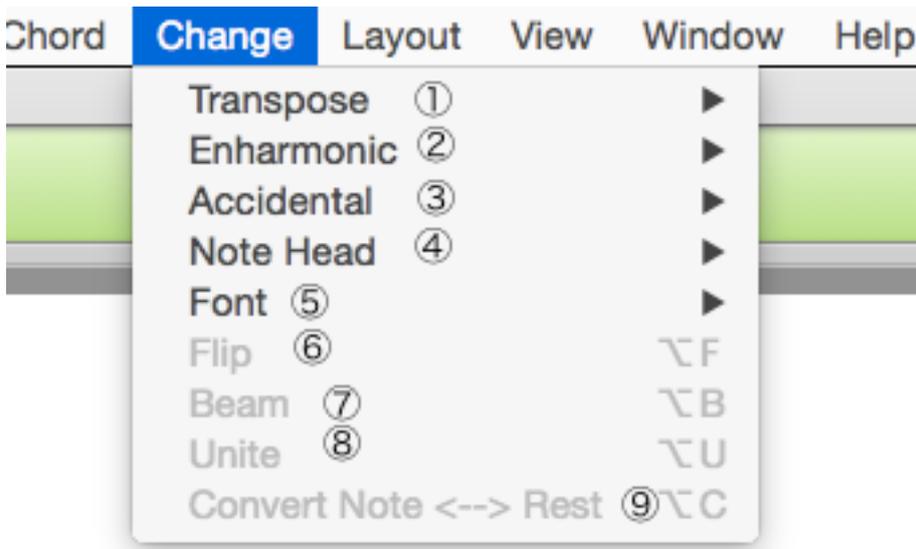
消したい最初の小節と終わりの小節を指定すると消去

- ⑥ 各表記 名前
- ⑦ マトリクスパレット起動ボタン (Macintosh 版)
- ⑧ コードパレット起動ボタン (Macintosh 版)
- ⑨ 音声入力 (Macintosh 版)
- ⑩ 文字パレット (Macintosh 版)



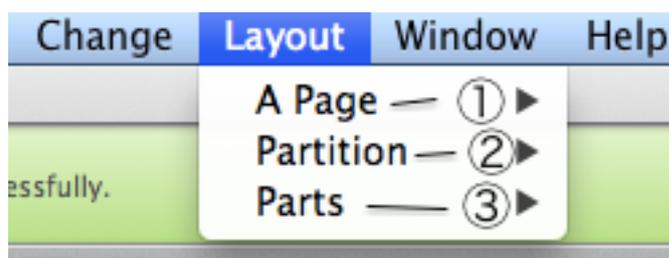
- ① 次のコードに行く (Macintosh 版)
- ② 一つ前のコードに戻る (Macintosh 版)

※Macintoshのみ

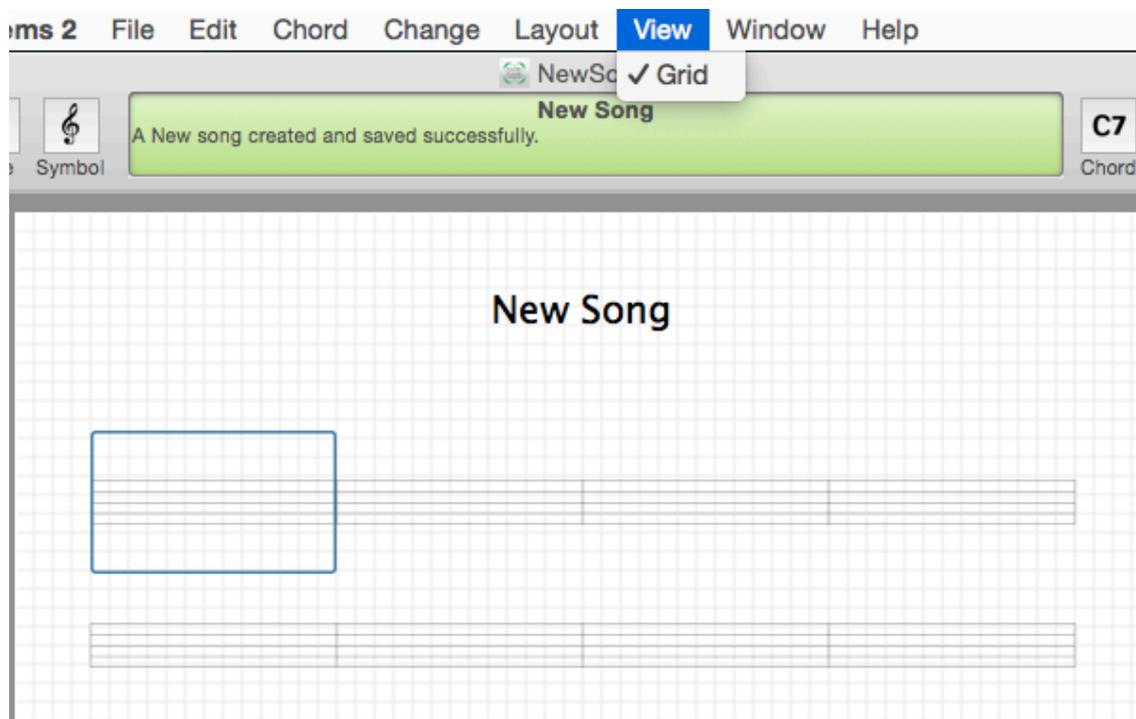


- ① 全ての小節を一括で移調する (プラス12～マイナス12)
- ② 異名同音変換を実施する
- ③ Upでシャープ、ダブルシャープへ上がり、Downでフラット、ダブルフラットへ下がる

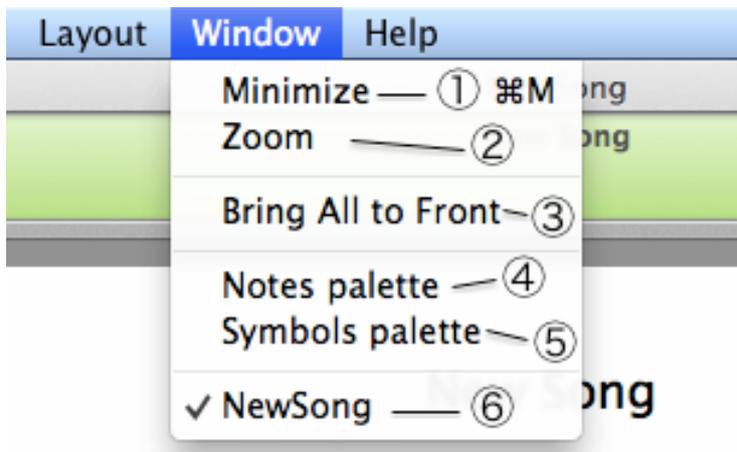
- ④ 符頭を変更 (ノーマル/×/なし)
- ⑤ 追加Font への変更
- ⑥ 上下反転、音符の旗やスラーを上下反転する
- ⑦ 連行化、連行解除、連行化されていなければサブメニューの左側チェック印を付け、トグル動作とする
- ⑧ 8部2つ/4部 16部2つ/8部
- ⑨ 音符/休符の相互変換



- ① 1 ページあたりの行数 (8段~12段)
- ② 1 行の小節数 (1小節~8小節)
- ③ 五線の段数を個別に変更する (1段か2段)



グリッド表示

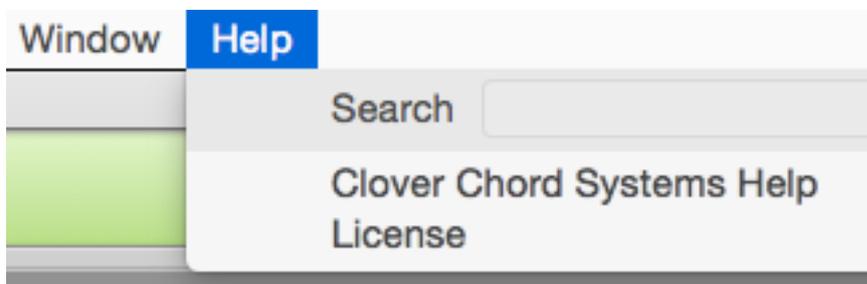


Macintosh 版

- ① ウィンドウを最小化
- ② ウィンドウを拡大
- ③ 全て手前に表示
- ④ 音符パレットを表示
- ⑤ 記号パレットを表示
- ⑥ 開いている書類

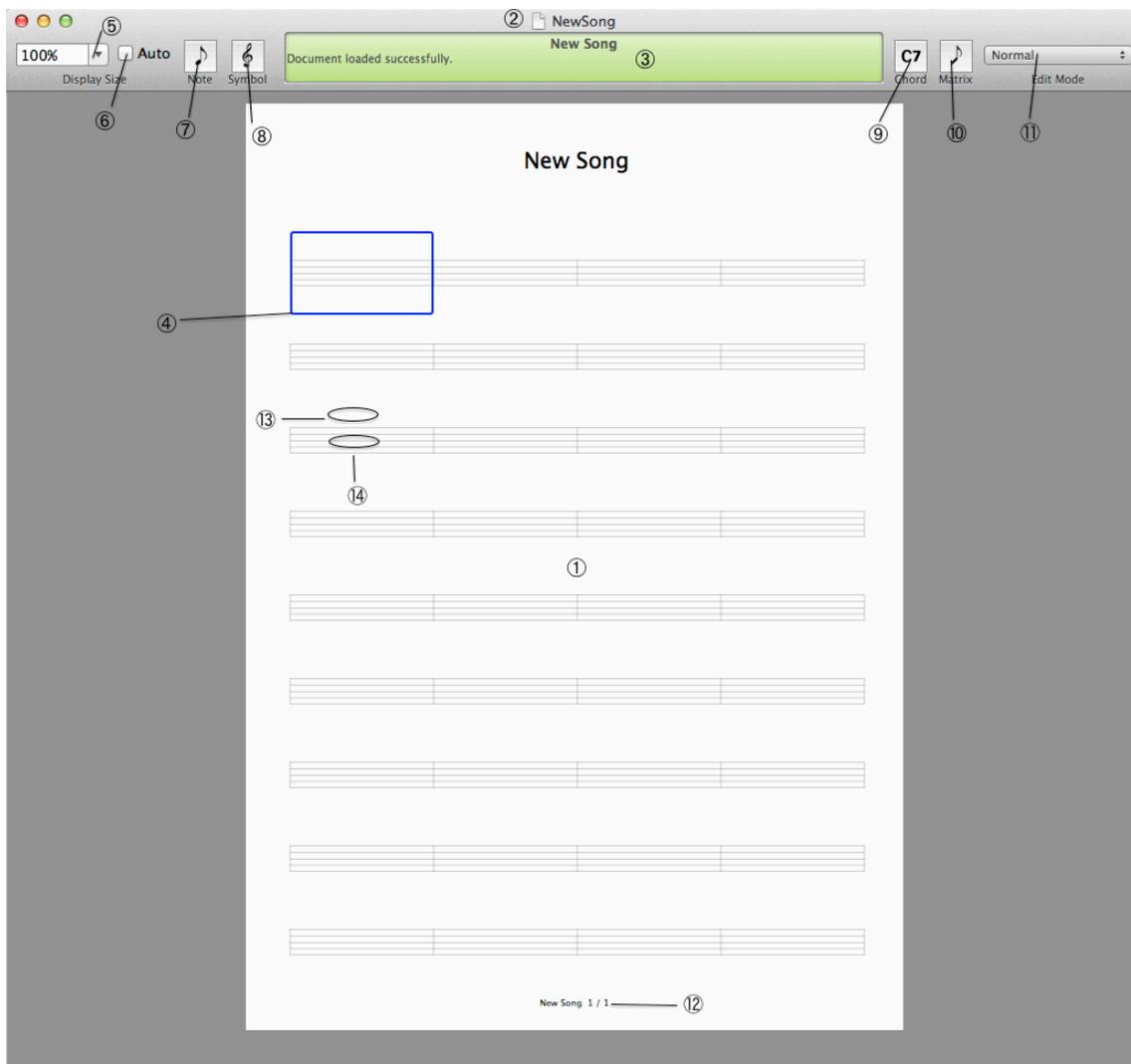
Windows 版

- ① Note Palette
- ② Symbol Palette
- ③ Chord Palette
- ④ Matrix Palette



- ① 検索
- ② ヘルプ
- ③ ライセンスキー入力画面

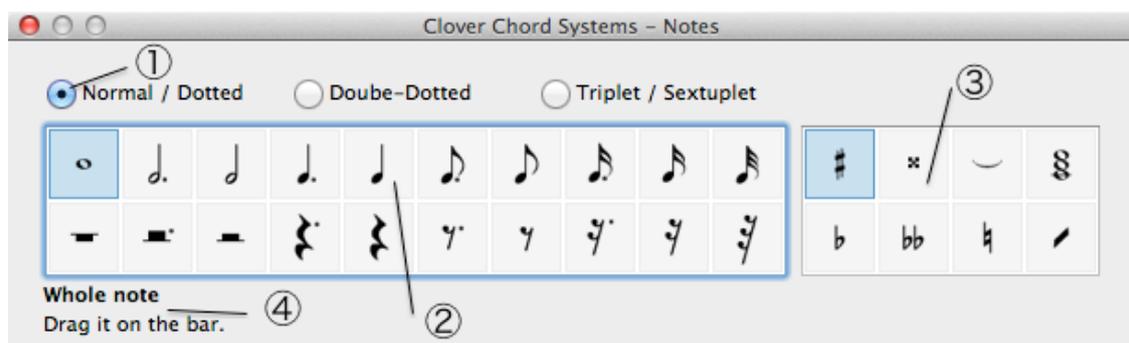
(4) メインウィンドウ



- ① 五線譜ビュー
- ② ツールバー
- ③ ヘルプガイダンス表示ウィンドウ
- ④ カーソル
- ⑤ 表示サイズ変更ボックス / プルダウンメニューから選べます。ダブルクリックして直接入力することもできます。
- ⑥ Auto ボタン / チェックするとウィンドウのサイズに合わせて自動的に調整されます。
- ⑦ 音符パレット起動ボタン
- ⑧ 記号パレット起動ボタン

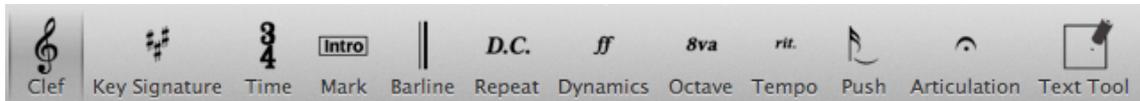
- ⑨ コードパレット起動ボタン
- ⑩ マトリクスパレット起動ボタン
- ⑪ 小節編集モード切り替えボックス / ノーマル、コピー、ペースト、カット、デリートの各モードを切り替えます。
- ⑫ ページ番号 / 全部で何枚の内の何枚目かが自動的に書かれます。
- ⑬ コード表示領域 / デフォルトではダブルクリックで、コードパレットの3stepモード画面
コントロール+クリックで、コードパレットの1stepモード画面が開きます。
- ⑭ 音符表示領域 / デフォルトではダブルクリックで、マトリクスパレット、
コントロール+クリックで、音符パレットが開きます。

(5) 音符パレット



- ① 種変更ボタン / ここで複付点音符、三連六連符などを選択します。
- ② 音符選択エリア / 選択した音符を五線紙エリアにドラッグします。
- ③ 記号および和音エリア / 臨時記号やタイ、スラッシュ、和音の音符を選んで五線紙エリアにドラッグします。
- ④ ヘルプガイダンスエリア / 簡単な英語での説明が表示されます。

(6) Symbols(記号パレット)

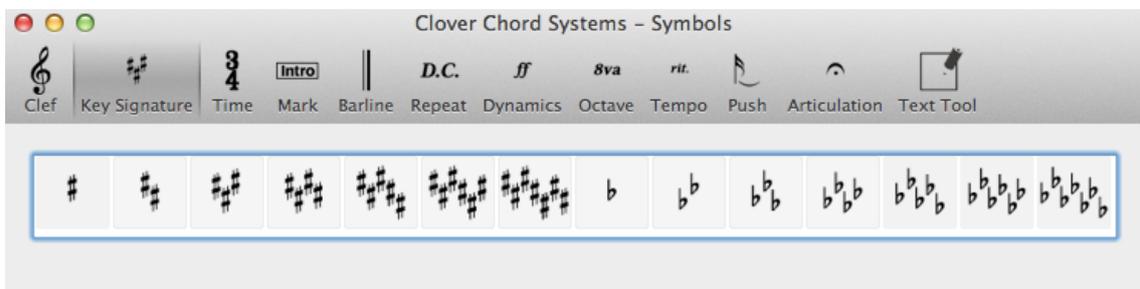


Clef (ト音記号 ヘ音記号)



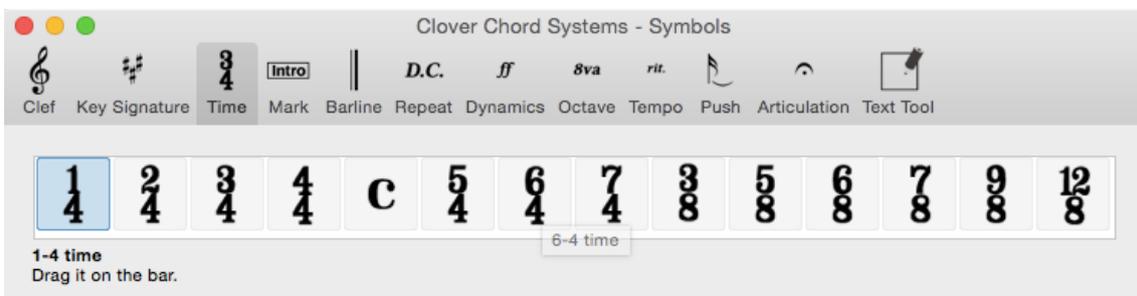
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Key Signature (各調)



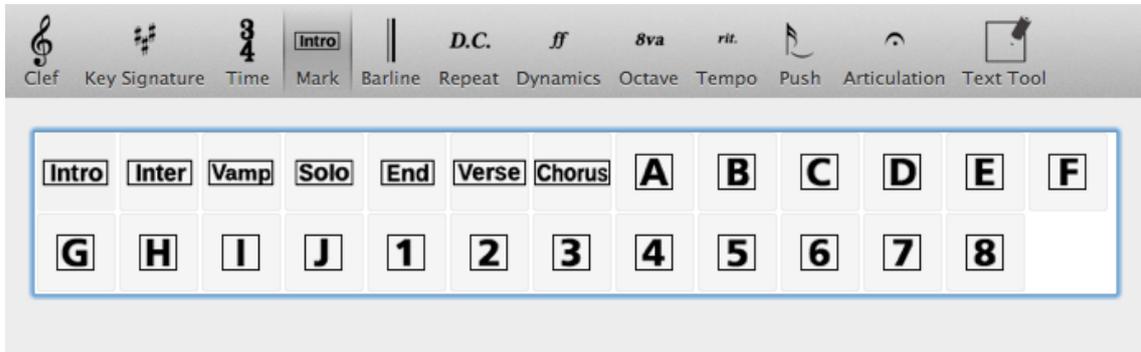
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Time (拍子)



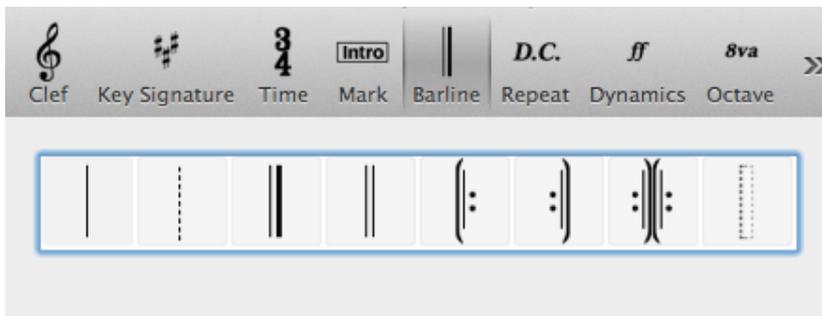
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Mark (リハーサルマーク)



※ 選択した小節にドラッグして落下させる

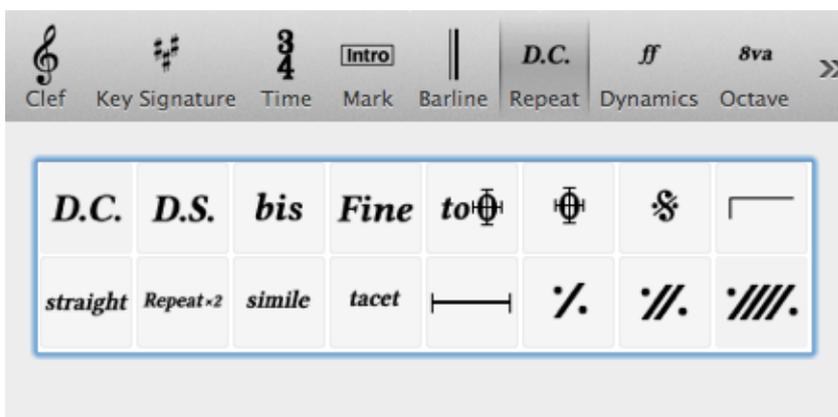
Barline (小節線)



※ 変更したい小節線の上に、合わせるように置き、変更する。

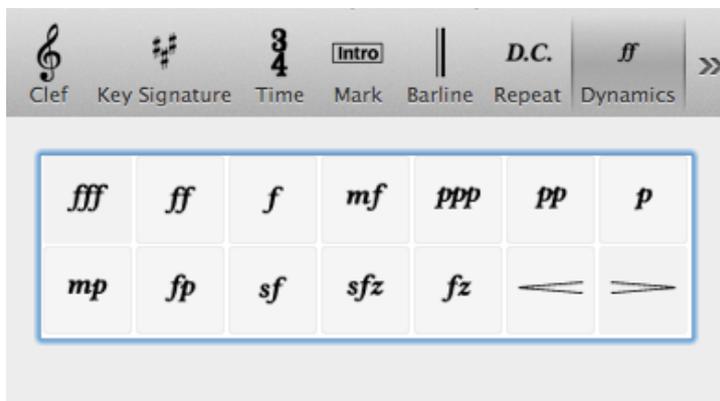
(削除することは出来ません。変更するという考え方です)

Repeat (リピート記号)



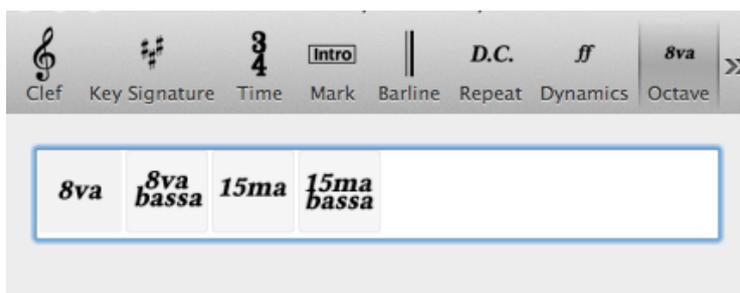
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Dynamics (強弱記号)



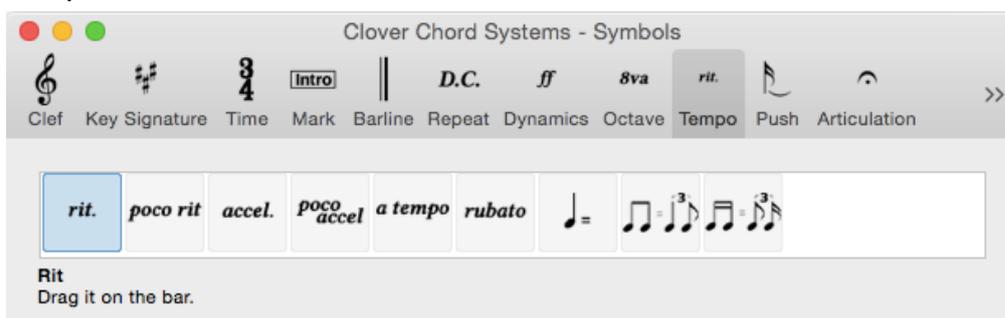
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Octave (オクターブ記号)



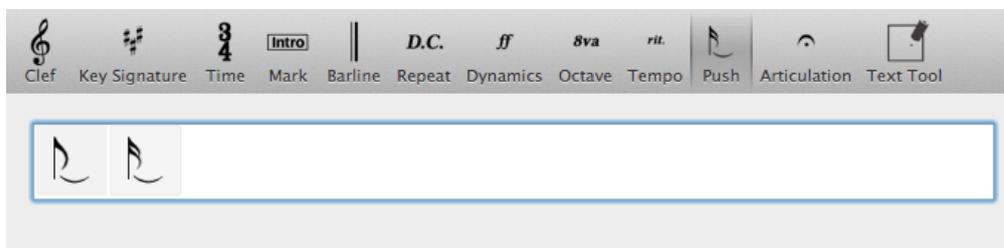
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Tempo (速さ記号)



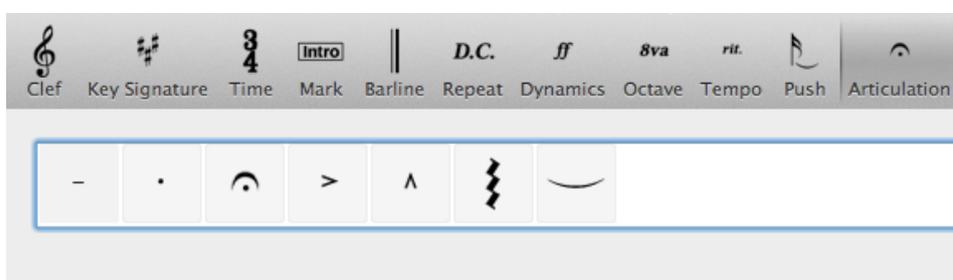
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Push (クイ記号)



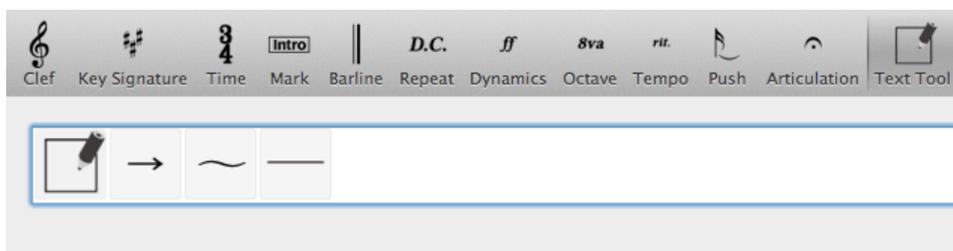
※ 選択した小節にドラッグして落下させる

Articulation



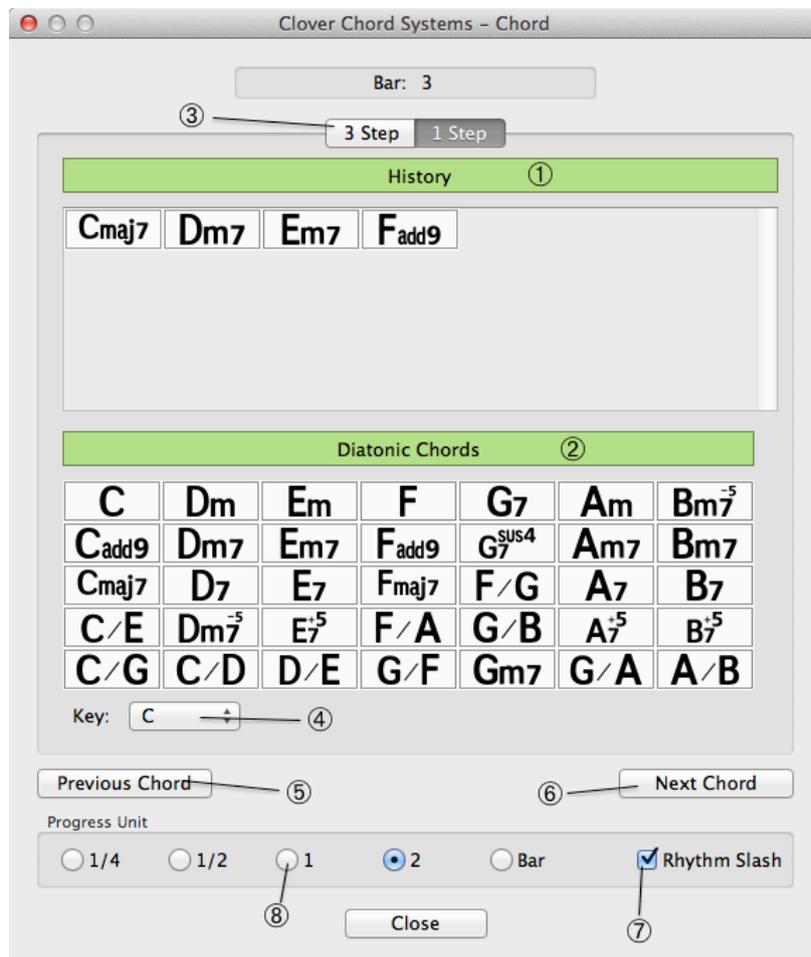
※ 選択した小節の音符にドラッグして落下させる

Text Tool (テキストツール)



(7) コードウインドウ

1stepモード



① 履歴エリア

一度入力したコードは、ここにプールされています。

どんな複雑なコードでも2度目はワンクリックで入力できます。

② ダイアトニックコードエリア

ダイアトニックコード+よく使われるコードが表示されています。

ワンクリックで入力できます。常にカーソルのある小節の調に追随していきます。

③ モード切り替えボタン

3stepモードと1stepモードを切り替えるボタンです。

④ キー選択ボックス

任意の調に変えられます。部分転調などに便利。

⑤ 一つ前のコードに戻る

間違えて入力した場合や修正したい場合など、一つ前のコードに戻ります。

(注) 何も入力されていないところには戻りません

⑥ 決定して次のコードに行く

クリックしたコードを決定して次に進みます。

(コードをダブルクリックしても同じ結果になります。)

⑦ リズムスラッシュに準随する

チェックを入れると、マトリクスウィンドウで作ったスラッシュの音符一つ一つにコードが付けられます。

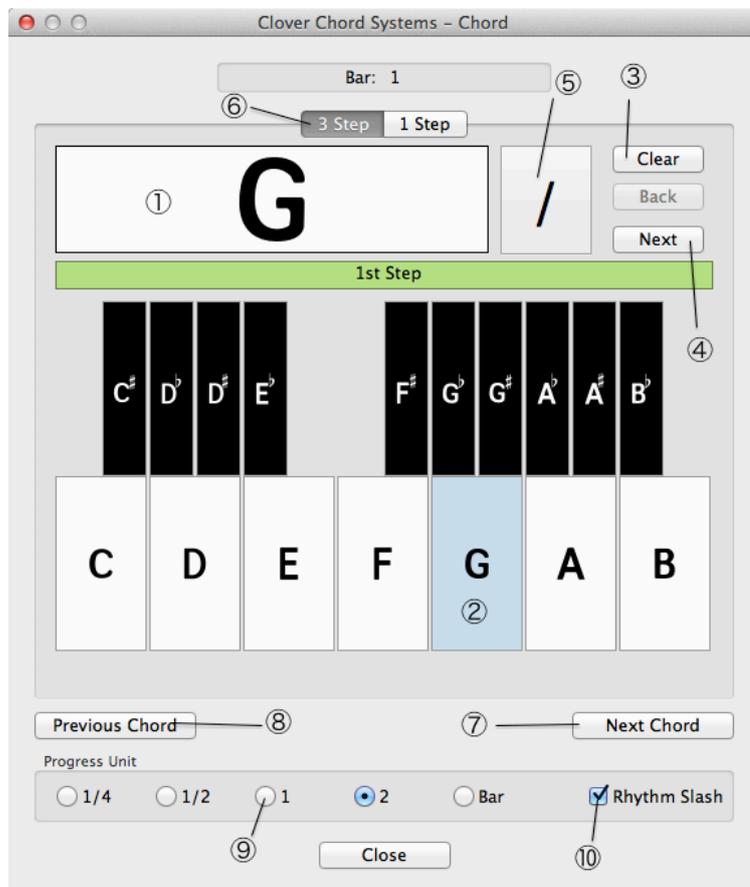
⑧ コードが進む単位

何拍ごとにコードを入力していくかを選べます。

(Barは1小節ごと、2は2拍ごと、1は1拍、1/2は8分、1/4は16分ごとです。)

3step モード

1step



① プレビューエリア

② ルート選択エリア

コードのルートを選択します。ダブルクリックすると2nd stepに進みます。

③ クリアーボタン

間違えた場合などに取り消します。前のコードに戻って消したい時にも使います。

④ 次のステップに進むボタン

2ndステップに進みます。

⑤ 分数コードボタン

分数コードのルートを入力できます。どのタイミングでも押すことができます。

(ルートを何も選んでなくても押せるので、分子は同じでルートだけ変わっていく場合などにも使えます。)

⑥ モード切り替えボタン

3step モードと1step モードを切り替えるボタンです。

⑦ 決定して次のコードに行く

クリックしたコードを決定して次に進みます。

(コードをダブルクリックしても同じ結果になります。)

⑧ 一つ前のコードに戻る

間違えて入力した場合や修正したい場合など、一つ前のコードに戻ります。

(何も入力されていないところには戻らないので、ご注意ください。)

⑨ コードが進む単位

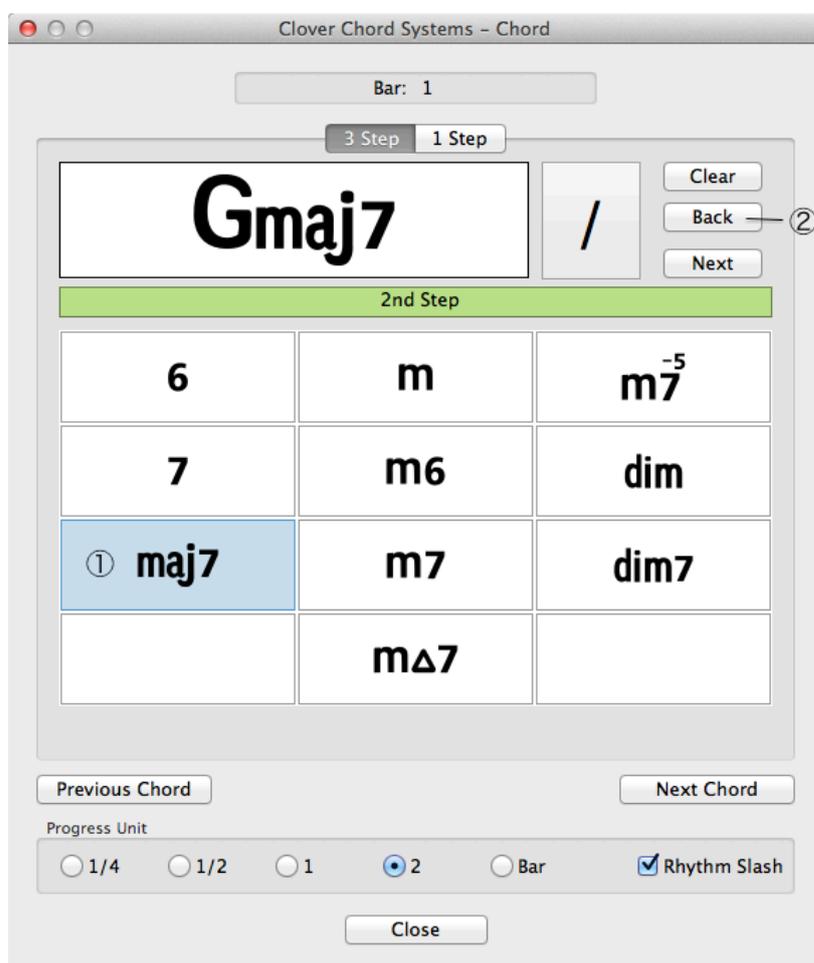
何拍ごとにコードを入れていくかを選べます。

(Barは1小節ごと、2は2拍ごと、1は1拍、1/2は8分、1/4は16分ごとです。)

⑩ リズムスラッシュに追随する

チェックを入れると、マトリクスウィンドウで作ったスラッシュの音符一つ一つにコードを付けられます。

2nd step



① 2nd step 選択エリア

マイナーやセブンスなどのコードの要素を決められます。

ダブルクリックすると3rd stepに進みます。

② 前のステップに戻るボタン

3rd step

The screenshot shows the 'Clover Chord Systems - Chord' window. At the top, it displays 'Bar: 1' and two tabs: '3 Step' (selected) and '1 Step'. The main display area shows the chord 'Gmaj7⁺¹¹' and a slash symbol. To the right are buttons for 'Clear', 'Back', and 'Next'. Below this is a green bar labeled '3rd Step' and a grid of options:

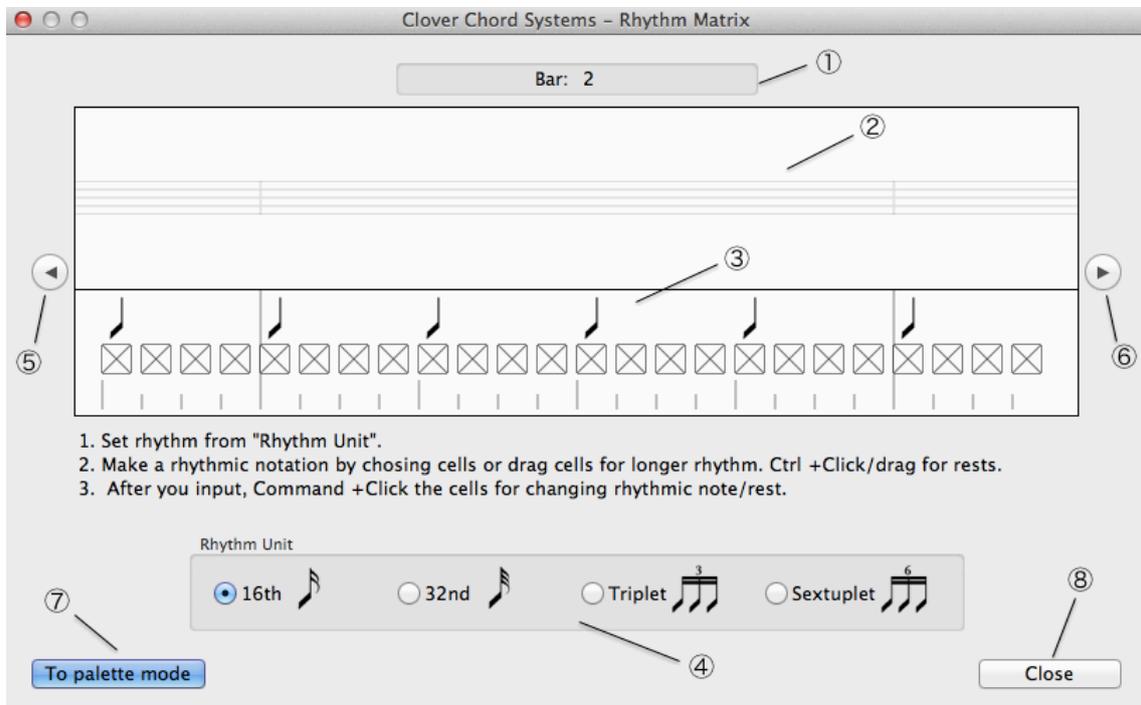
SUS4	+5	6	9	11	13	omit3
add9	-5	6/9	-9	① +11	-13	omit5
2	⁽⁹⁾ +5	⁽⁺¹¹⁾ 6/9	+9	⁽¹³⁾ 11		+
⁽⁹⁾ SUS4	⁽⁹⁾ -5		⁽¹¹⁾ 9	⁽¹³⁾ 11		
⁽⁻⁹⁾ SUS4	⁽⁻⁹⁾ +5		⁽⁺¹¹⁾ 9	⁽¹³⁾ +11		
4	⁽⁻⁹⁾ -5		⁽¹³⁾ 9	⁽⁻¹³⁾ +11		
	⁽⁺⁹⁾ +5		⁽⁻¹³⁾ 9			
	⁽⁺⁹⁾ -5		⁽⁻¹³⁾ -9			
			⁽⁻¹³⁾ 9			
			⁽⁻¹³⁾ +9			

Below the grid are buttons for 'Previous Chord' and 'Next Chord'. Under 'Progress Unit', there are radio buttons for 1/4, 1/2, 1, 2 (selected), and Bar, along with a checked checkbox for 'Rhythm Slash'. A 'Close' button is at the bottom.

① 3rd step 選択エリア

sus4 やテンションなどの要素を追加できます。

(8) リズムマトリックス(Rhythm Matrix)



1. Set rhythm from "Rhythm Unit".
2. Make a rhythmic notation by choosing cells or drag cells for longer rhythm. Ctrl +Click/drag for rests.
3. After you input, Command +Click the cells for changing rhythmic note/rest.

- ① 編集対象の小節番号
- ② 入力済みのリズムスラッシュ・休符の五線譜プレビュー
- ③ リズムセル領域。ドラッグで1個以上のセルを選択し、Click+ドラッグでリズムスラッシュ、Ctrl+ドラッグで休符。入力済みセルをCommand+Clickで、リズムスラッシュ/休符に変換
- ④ リズム単位選択ボタン
- ⑤ 前小節へ移動ボタン
- ⑥ 次小節へ移動ボタン
- ⑦ 音符パレット入力モードへの切替ボタン
- ⑧ 編集を完了してウインドウを閉じる

各状態



空状態



音符状態



休符状態



カーソル進入時



ドラッグ中
(選択中)

※ 以下は各モード画面にて入力されているものです



(注) 3連 6連譜で休符を入れたい場合は、1度3連 6連譜を入力してから、休符にしたい符号を選択して休符変換、又はその逆にリズムスラッシュに変換して下さい。

(9) 音符の入力方法

Clover chord systems(以下クローバー)は、コード譜(マスターリズム譜)作成専用ソフトとして設計されているため、本格的な音符入力には適していません。

ですが、マスターリズム譜に簡単なメロディを記入する時には、とても便利だと感じていただけたと思います。

Clover chord systemsが他の楽譜作成ソフトと決定的に違うのは、最初は「空白」から始まるということです。

多くのソフトは最初、全て休符で埋まっています。

ですが、本当の五線紙はClover chord systemsと同じく、最初は「空白」ですよ?

その考え方が、マスターリズム譜においては、とても便利だということを説明しましょう。

バンドに自由な演奏をしてもらいながら、その中に少しメロディを織り交ぜてもらいたいとします。

そして、2種類の楽譜を作ったとしましょう。

EX.1

この楽譜を渡されたバンドは、4小節めの1拍目までを演奏して、

4小節目の2拍目からの「ミファン」というメロディを誰かが演奏の中に入れて欲しい。

ですが、このような楽譜だと、どうなるでしょうか?

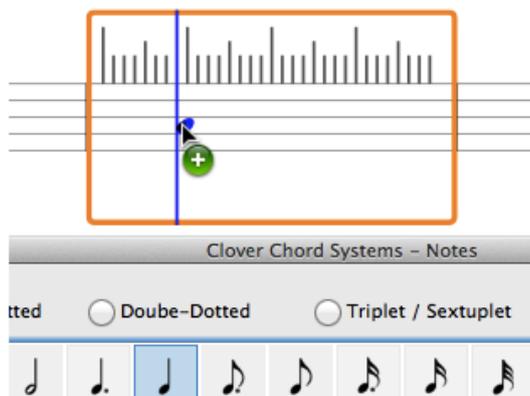
EX.2

この楽譜を渡されたバンドは4小節目の1拍目までは、何も演奏せず、
4小節目の2拍目からの「ミファソ」というメロディのみを何人かが演奏して、また休むでしょう。
これでは困ってしまいますね。

多くの楽譜ソフトは、最初このように書かれるため、あとで必要でない休符を全て非表示にしなければいけません。この作業は大変で、
時には多くの時間を費やす必要があります。

クローバーでは、手書きと同じく、休符は自分で記入しなければ存在しません。
休符を見えなくする手間もなく、簡単に好きなところに、ちょっとした音符を配置することが可能です。

どこからでも書き始められるため、各小節に最初の音符をドラッグする時だけ、図のような物差しが現れます。
これに沿って好きな位置に落として下さい。
それに続く2音以降は、左詰めで自動的に配置されていきます。

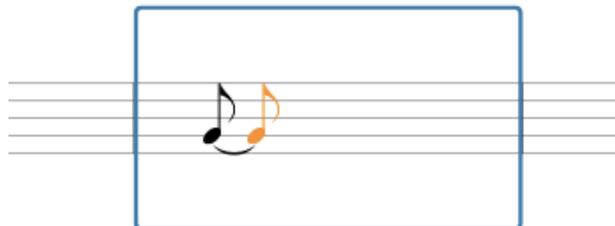


最初の音符よりも前に2番目の音符をドラッグした時は、小節の最初から左詰めで配置されます。
音符は1拍で自動的に区切られるようになっているため

長い音符を中途半端な位置に落とすと自動的にタイで区切られます。(自動変換モード時)

下の図は、4分音符を半拍後ろに落とした例です。

シンクレーションする音符を入力する時に、考えて使うと便利です。



それ以外のタイは、パレットから音符の玉にドラッグして個別に付けて下さい。

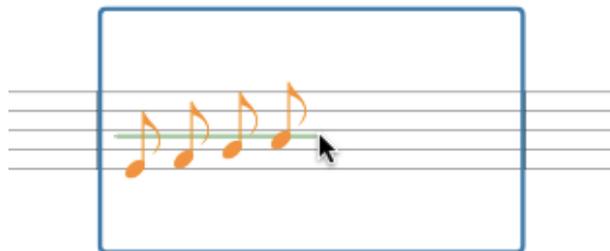
音符を並べたら、連行化しましょう。

まとめた音符をドラッグして、Change>Beamで、連行化されます。

頻繁に使うので、ショートカット (Option+B) を覚えると便利です。

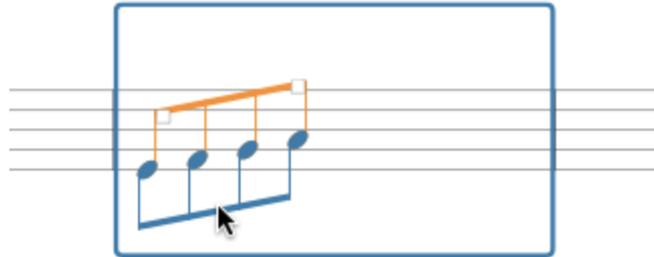
ドラッグする時は、図のように横線を引くような感じの方が簡単な時もあります。

玉を囲うような操作と、場合によって使い分けると良いでしょう。



連行は、横線の中央部分を持って、上下を遊ばせることができます。

見やすいように調整して下さい。



棒を掴むのは少しコツが必要かもしれません。

棒の中央部分を掴むようにしましょう。

ショートカットは、option+F です。

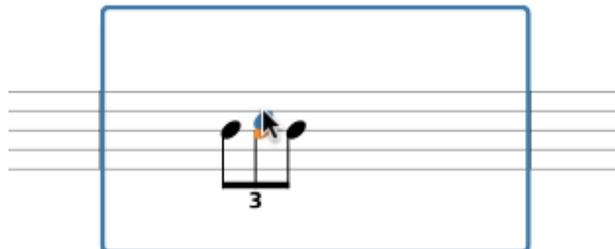
音符単体でも、棒の先端部分を掴んでひっくり返せます。

尚、横棒の角のハンドルを操作することで、連符の傾きを自由に調整できます。

3連、6連の音符を書く方法お持ちです。

ドラッグすると、まず最初に3つか6つ音符がセットで一度描かれます。

最初は全て同じ音程になっているので、お望みの音程に移動して下さい。



常にセットになっているため、個別に音符を削除することはできません。

前述のように、クローバーには「空」という状態があるので、表示が不可解なものになるのを避けるため

削除ではなく、音符から休符に変換することで、色々なリズムを描く仕様になっています。

玉を選択して、Change>Convert Note<->Rest で、変換して下さい。ショートカットは、Option+C です。また以下のように、8部

音符を2つ選択して、Unite で4部音符に変換出来ます。



さて、小節に音符がいっぱいになってきたら、小節を広げて見やすくしましょう。

実に簡単です。小節線を掴んで横に伸ばすだけです。



1段を何小節にするかは、変えたい段にカーソルを置いて、Layout>Partitionで変えられます。

気に入ったレイアウトになるまで調整してみてください。

同じく1ページを何段にするかは、Layout>A pageで変更できます。

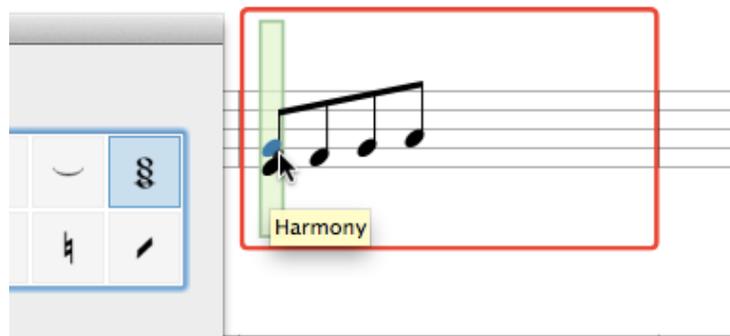
クローバーでは、同じ段の中に動きの違う2つのパートを描くことはできません。

その場合は、Layout>Partを2に設定することで、いつでも簡単に2段符にすることができます。

上手に活用して下さい。

既に描いてある音符を和音にすることは可能です。

音符パレットの右端にある和音マークを音符の玉にドラッグすることで加えられます。



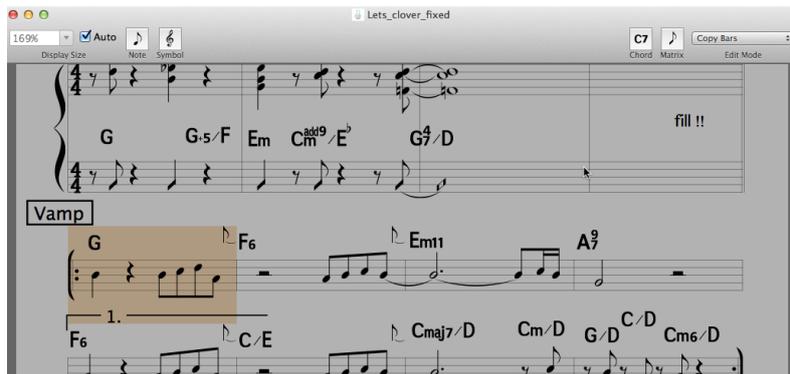
(10) コピー／ペースト

クローバーでは、コピーは全て小節単位となります。

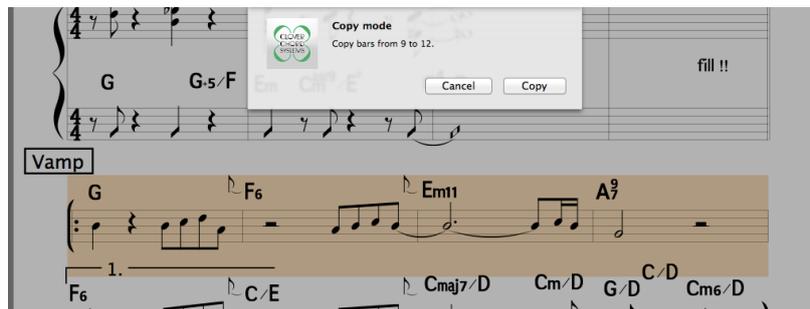
メインウィンドウの右上にある、小節編集モード切り替えボックスからコピーを選択します。

(ショートカットはshift+command+Cです。)

1. 最初にコピーする先頭の小節を五線紙上でクリックします。



2. 次に最後の小節をクリックします。



3. コピー先の小節をクリックします。



ペーストする時は、小節内の全て、コードのみ、コード以外、を選択することができ、

尚、それを移調したり、繰り返し貼付けたりすることが可能です。

小節が足りなくなったら、Edit>New Bars で小節を増やしましょう。

カーソルのある位置から、指定した数だけ小節が挿入されます。

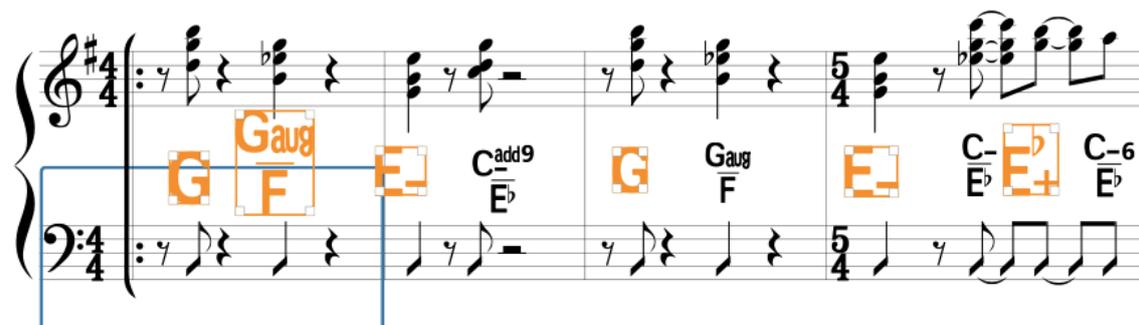
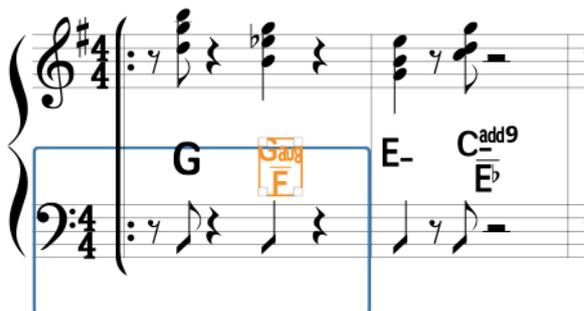
記号パレットから、濃いダブルバーもしくはFine をドラッグすると、その後の小節は自動的にカットされて、曲の終わりとなるので、とりあえず一気に200小節くらい増やしておいても良いでしょう。



(Paste モードでは、3の動作、Cut、Delete モードでは1、2の操作を参考にして下さい。)

(11) コードや記号の調整

位置を調整したいコードや記号を選択し、掴んで移動、カーソルキーによる移動、また選択されている四隅のどこかを掴めば、拡大縮小が出来ます。ドラッグによって複数選択、shift または command (Mac 版) Control (Win 版) で選択を増やしたり、減らしたり可能です。複数選択時にどれか1つを掴み、拡大縮小をすれば選択全てが同じ様になります。



(12) フォントの変更

Clover Chord Systems2 は新たにフォントを登録、購入することでデフォルト以外のフォントに変更出来ます。登録、購入したフォントは以下に格納してください。

Clover Chord Systems を再起動して、メニューの Change、Font より変更出来ます。

※ 格納場所

Macintosh 版

Finder の移動、フォルダーへ移動を開き、以下をコピーしてペーストして下さい。開いているファインダーに購入したフォントのファイルを入れて下さい。

~/Library/Containers/jp.co.clover-japon.CloverChordSystems2/Data/Library/Application Support/CloverChordSystems2/fonts

Windows 版

ユーザの Document 以下の” CloverChordSystems\fonts” フォルダ

(%userprofile%\documents\CloverChordSystems\fonts)へ購入したフォントのファイルを入れて下さい。

(13) 印刷と PDF

プリントは購入後ライセンスキーを入力して頂ければ印刷出来ます。

PDF 変換は各 OS によって違いがあります。

Macintosh 版

プリントを選んで頂き、次に左下の PDF を選び

PDF の場合は、PDF で保存を選んで頂ければ出来ます。

その他の場合は、同じくプリントを選んで頂き、次に PDF を選び、

次にプレビューで PDF を開く、を選び、保存で、各種フォーマットへ変更出来ます。

Windows 版

Windows は機能として、初めから PDF 変換は出来ません。

以下のような無料ソフトなどをインストールして、プリンターとして PDF に書き出します。

<http://www.cube-soft.jp/cubepdf/>

<http://www.primopdf.com>

※こちらは動作保証するものではなく、個々の利用者が自己責任に基づいて行って下さい。

あとは、あなたの使い方次第！クローバーは、きっとあなたの良きパートナーとなるでしょう。